

# Europe Indicators

発表日: 2020年7月27日(月)

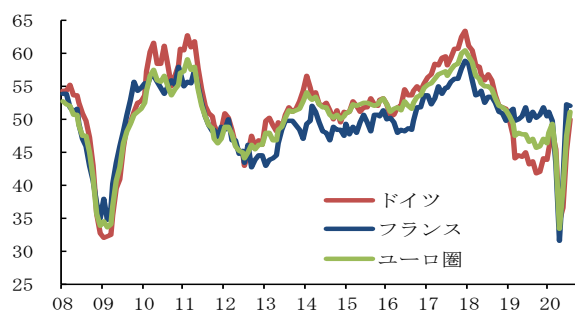
## 欧州経済指標コメント: 7月ユーロ圏PMI速報

～コロナ危機前復帰も、採用意欲は弱い～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

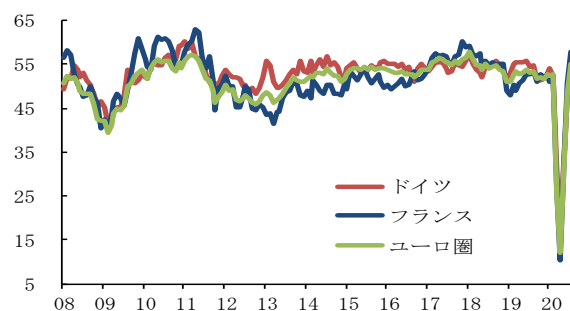
- 24日に発表された7月のユーロ圏の総合PMIの速報値は54.8と前月から一段と改善、コロナ危機以前の水準を超え、2018年6月以来の高水準を記録。総合PMIを構成する2項目の内訳は、製造業の産出指数（製造業PMIの構成項目の1つ）が54.0、サービス業活動指数が55.1と、何れも好不況の分岐点である50を超え、危機以前を上回る水準に改善した。
- 製造業PMIは、産出指数と受注指数の改善を背景にドイツが2018年12月以来の50復帰、受注指数の増勢鈍化からフランスの改善モメンタムがやや鈍化した。サービス業PMI（活動指数）は、ドイツ、フランスともに50台後半に改善。ここから、その他ユーロ圏の計数も製造業、サービス業ともに50台前半に復帰した模様。
- 段階的な都市封鎖の解除や欧州復興基金の合意を受け、企業の業況判断の改善が持続。危機前の水準を上回って改善しているが、現下の局面では指数の水準がハードデータの改善を意味するものではない。構成項目の中で特徴的な動きは、受注指数に比べて輸出受注指数の回復が遅れていることと、雇用指数が総じて弱いこと。前者は米国や新興国での感染拡大や貿易摩擦のリスク再燃などが輸出受注改善の重石となっている。後者は経済活動再開後も先行きの不透明感が強く、採用意欲の拡大に結び付いていないことが示唆される。時短・休業補助金や解雇規制の終了後の雇用環境悪化が懸念される。

■ユーロ圏：製造業PMI



出所: IHS Markit

■ユーロ圏：サービス業PMI



出所: IHS Markit

■購買担当者指数 (PMI、季節調整済み)

	2019				2020											
	3Q	4Q	1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		
ユーロ圏 総合産出指数	51.2	50.7	44.2	31.3	50.6	50.6	50.9	51.3	51.6	29.7	13.6	31.9	48.5	54.8		
ユーロ圏 製造業購買担当者指数	46.4	46.4	47.2	40.1	45.9	46.9	46.3	47.9	49.2	44.5	33.4	39.4	47.4	51.1		
ユーロ圏 サービス業業況指数	52.8	52.3	43.9	30.3	52.2	51.9	52.8	52.5	52.6	26.4	12.0	30.5	48.3	55.1		
ドイツ 総合産出指数	50.3	49.5	45.6	32.3	48.9	49.4	50.2	51.2	50.7	35.0	17.4	32.3	47.0	55.5		
ドイツ 製造業購買担当者指数	42.8	43.3	46.2	38.8	42.1	44.1	43.7	45.3	48.0	45.4	34.5	36.6	45.2	50.0		
ドイツ サービス業業況指数	53.6	52.1	46.1	32.0	51.6	51.7	52.9	54.2	52.5	31.7	16.2	32.6	47.3	56.7		
フランス 総合産出指数	51.9	52.2	44.0	31.6	52.6	52.1	52.0	51.1	52.0	28.9	11.1	32.1	51.7	57.6		
フランス 製造業購買担当者指数	50.3	50.9	48.0	41.5	50.7	51.7	50.4	51.1	49.8	43.2	31.5	40.6	52.3	52.0		
フランス サービス業業況指数	52.4	52.5	43.6	30.7	52.9	52.2	52.4	51.0	52.5	27.4	10.2	31.1	50.7	57.8		

出所: IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

